

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-237	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ・712	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の言語活動を通じ、英語による**基礎的かつ実践的な発信技能**を習得させること、またそれによって、**論理の構成や展開**を工夫して、**主体的・自律的にコミュニケーション**を図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の**生きる力**を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校および「論理・表現Ⅰ」との連携を考慮して、**基本事項の定着**を重視するとともに、その基礎を活用してさらに**英語表現の能力を伸ばす**ことが可能となるように選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的2技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的2技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ**積極的に授業**に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、主体的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し How to Write a Letter / Punctuation	手紙や E メールで用いる 基礎的な英語表現 を身につけさせる。(第1号) 英語の句読法について正しい知識を習得させ、 標準的な英語における適切な表記 を追究する姿勢を養う。(第1号) 相互の意見や関係性を尊重し、 積極的にコミュニケーション を図ろうとする態度を養う。(第2号)	前見返しⅠ・Ⅱ 後見返しⅣ・Ⅴ 前見返しⅠ・Ⅱ
はじめに 英語表現力を効果的に身につけるには	英文の語順・日本語との表現の違い・パラグラフの構成・単語の成り立ちなどについて、 基礎的な理解 を深める。(第1号) 英語学習のポイント・勉強する態度などを点検することで、 能力の伸長・創造性の涵養 を図る。(第2号) ルーブリックを用いて課題の達成度を認識するとともに、学習者間評価を自主的に行い、「話す」「書く」 能力を育成する態度 を養う。(第2号)	5～6 ページ 7 ページ 8 ページ

<p>PART 1 Building a Basis for Logical Expression</p>	<p>英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身につける。(第1号)</p> <p>モデルとなる文章として、身近な題材を用いることで、個性を尊重する態度や、豊かな情操、道徳心を培う。(第1号)</p> <p>自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>ボランティア活動や職業などの題材により、社会・集団へ主体的に参画し、発展に寄与する態度を養う。(第3号)</p> <p>自然と生活・文明の関わりを扱うことで、環境保護の意識を高める。(第4号)</p> <p>自国文化を尊重させる。また、国際協力への意識を育む。(第5号)</p>	<p>10～60 ページ</p> <p>10,14,30 ページほか</p> <p>Express Yourself! (11,13 ページほか)</p> <p>英文・写真・イラスト全般</p> <p>26,42 ページほか</p> <p>36,40 ページほか</p> <p>24,30,50 ページほか</p>
<p>PART 2 Communicative Functions for Logical Expression</p>	<p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を養う。(第1号)</p> <p>発展的な表現活動を行うことにより、自律性を培う。(第2号)</p> <p>学習者自身の将来を見据え、職業と生活の関連を意識させる。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>言語の働きを学習することで、他人に対する心的な働きかけを意識して、自他の意見の相違などを尊重しつつ対話を進める態度を養う。(第3号)</p> <p>地域開発と環境の関連を示す題材により、佳境保全の意識を高める。(第4号)</p> <p>外国語学習の意義を考えさせ、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号)</p>	<p>62～104 ページ</p> <p>Express Yourself! (63,65 ページほか)</p> <p>70～71 ページほか</p> <p>英文・写真・イラスト全般</p> <p>Model (62,64 ページほか)</p> <p>Column (82～83 ページ)</p> <p>67,103 ページほか</p> <p>99 ページほか</p>
<p>PART 3 Advanced Communicative Activities</p>	<p>発展的な言語活動に用いられる表現を習得し、物事を論理的・多面的に捉え、真理を求める態度を養う。(第1号)</p> <p>発展的な言語活動を通じて、自己表現能力をさらに伸長させ、自主・自律の精神を養う。(第2号)</p> <p>社会的なルールについて、対話を通じて理解を深め、社会の一員としての責任意識を高める。(第2号)</p> <p>自国の食文化についての理解を深め、それを英語で表現し、他国の人々に効果的に伝えようとする態度を培う。(第5号)</p> <p>美しい自然や文化財を保有する日本の名所を紹介し、郷土を慈しむ心を養う。(第5号)</p>	<p>106～119 ページ</p> <p>106～119 ページ</p> <p>112～113 ページ</p> <p>106～109 ページ</p> <p>110～111 ページ</p>
<p>後付 Useful Expressions</p>	<p>英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</p>	<p>120～125 ページ</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 学習しやすいパート別 / 見開き2ページ構成

1. パート別構成

PART 1で「論理的表現の基礎〔文法〕」を、PART 2で「言語の働き〔機能〕」*を習得します。いずれも表現活動に繋げる点を重視した構成となっています。

*「言語の働き〔機能〕」とは、「勧誘する」「依頼する」などのことばの働きのことで、これを理解することで、自分が伝えたい内容を的確に表現することが可能となります。

例えば、Can you play the violin?〔質問〕 / Can you lend me your bike?〔依頼〕のように、同じ“Can you ~?”という疑問文でも「言語の働き」は異なります。

さらに、PART 3ではプレゼンテーション・ディスカッション・ディベートといった、より高度な言語活動を実践することが可能です。

2. 見開き2ページ構成

見開き2ページの小ユニットで1レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT（簡明な解説・用例）～INTAKE（ドリル・練習問題）～OUTPUT（自己表現活動）の流れをもった、豊富な学習内容を扱っています。

B. 理解しやすいパラグラフ・ライティングなどの解説 <Express It Logically>

パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティング、サマリー・ライティング、インタビュー、図表に関する伝達などを、PART 1,2のExpress It Logicallyにおいて無理なく学習することができます。学習者の習熟度に応じて扱えるよう、正課3～4レッスンの間に配置しています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現形式の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

1. PART 1：英語で論理的に正しく表現するための基本的なルールの習得に主眼を置きました。

- a) 左ページ：各課で学習すべきポイントを含むモデル文に、リスニング問題・音読練習・簡単な解説を加え、確認のための練習問題〔実際の活用を意識した、図絵の内容を思考・判断し、表現する問題（下例）〕を設けました。



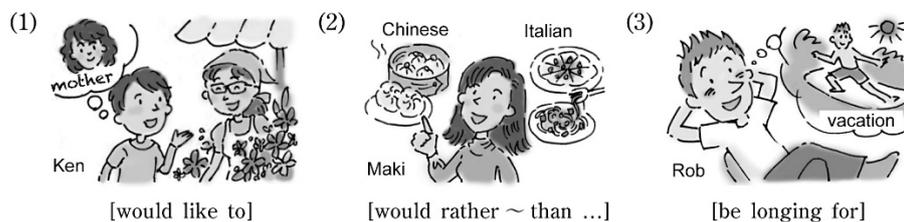
- (1) Jane asked _____.
- (2) Ken's mother didn't let _____.
- (3) Mr. White wants _____.
- (4) Ms. Nelson says it would _____.

〔図などは実際にはカラー印刷となります（以下同）〕

- b) 右ページ：まとまった文章内容を自分で表現することを目標に、「リスニング問題→キーワードの書き取り→図絵を参考にしたリテリング」を行い、当該の課で学習した内容をふまえて文章を書き、それを軸にして学習者間で対話練習を行います。

2. PART 2 : 言語の働き【機能】を意識した、より効果的なコミュニケーションを図る力を育成することに重点を置きました。

a) 左ページ：各課で学習すべき機能表現を含むモデル文・関連表現を示し、PART 1 と同様の、図絵の内容を思考・判断し、表現する問題（下例）を設けました。



- (1) Ken _____
 (2) Maki _____
 (3) Rob _____

b) 右ページ：対話などの内容を要約して伝えることを目標に、「リスニング問題→ディクテーション→ロールプレイ→リテリング」を行い、当該の課で学習した内容をふまえてオリジナルの対話練習を行い、それを軸にして学習者間でグループワークを行います。

3. PART 3 : PART 1,2 で習得した内容を基に、高度な言語活動に発展させるパートです。

プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートといった活動を、基礎からわかりやすく説明しています。見開き 2 ページごとに「解説～実戦練習」の構成をとっており、段階を追って学習することが可能です。

B. 正課以外：Express It Logically など

1. 正課 3～4 レッスンごとに、Express It Logically という課を設けました。PART 1 では文章（パラグラフ）作成，エッセイ・ライティング，PART 2 ではインタビュー，サマリー・ライティング，図表の内容の伝達活動（下例）などを、見開き 2 ページの簡潔な構成で取り上げました。

1

- (1) You find the advertisement on the right. Write an email in which you invite your friend to take a trial lesson with you.
 (2) You want some more information. Write an email to the address on the advertisement, or to Mr. Harris, in which you ask two questions about the content.

2. PART 2 では本課 3 レッスンごとに、自分の意見を述べる際のヒントや、Writing (email などの自由英作文) といった、学習事項をさらに定着・発展させるページを用意しています。
 3. 巻頭「はじめに」では、英語表現力を効果的に身につけるうえでの留意点を改めて確認し、学習に臨む姿勢を点検できるようになっています。
 4. 前後の見返しでは How to Write a Letter [手紙・Eメールの書き方]，Punctuation [句読法] など、主にライティング活動に関する注意点を補足しました。

◆教材配当表 <B5判・128ページ・4色>

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめに—英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去/進行形)	2	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
3	My Dear Friend (現在完了/進行形)	E5	インタビューを行ってみよう
4	A Dog in a Barbershop (助動詞)	4	A Guitar Concert (勧誘する・招待する, 期待する)
C	リスニング・スピーキングにおける注意点	5	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
E1	パラグラフの「型」を意識しよう	6	What Should I Do? (提案する, 助言する)
5	Japanese Food (受け身)	E6	サマリー・ライティング
6	Volunteer Activities (不定詞①)	C	politeness (ポライトネス) を考えよう
7	A Stage Actor (不定詞②)	7	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
8	I Like Singing (動名詞)	8	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
E2	パラグラフの「展開」を工夫しよう(1)	9	Meeting the Deadline (許可を求める)
9	Cycling (分詞)	E7	図表の内容について伝達してみよう(1)
10	My New Hiking Boots (比較①)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜ぶ)
11	The Yangtze River (比較②)	11	Returning a Magazine (謝罪する, 謝罪を詫言じる)
12	My Sister's Job (関係詞①)	12	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
E3	パラグラフの「展開」を工夫しよう(2)	E8	図表の内容について伝達してみよう(2)
13	In Kansas City (関係詞②)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
14	Dreaming of Space (仮定法①)	1	Making a Manuscript
15	An Android Like You (仮定法②)	2	Making Your Presentation More Effective
16	I Left My Smartphone (時制の一致・話法)	3	Being an Active Listener
E4	英語でエッセイを書いてみよう	4	Having a Discussion
C	和製英語	5	Speaking in Order
		6	Thinking Logically and from Different Angles
		7	Brushing Up Your Thinking Ability
		Useful Expressions/Index	

* 各課 1~2 時間で学習。 * はじめに：表現力養成上の基礎的な留意事項をまとめた導入ページ。

* C : Column : 発音や politeness (ポライトネス) などに関する, 英語表現上の注意点。

* E : Express It Logically : パラグラフ・ライティング, 図表の内容の伝達活動など。

* PART 2 の 3 課ごとに, Tips for Express Your Opinion (自分の意見を述べる際のヒント) や, Writing (email などの自由英作文) を掲載

* 前後見返しては「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-237	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
104・数研	論Ⅱ・712	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。
- B. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は極力英語を用いた（ただし、英文構成の解説などは、基礎力の定着を図るものとして、適宜日本語を使用した）。また、生徒が実際に言語活動を行いやすいように、具体的な指示・モデルパターンなどの一定の支援を与えるようにした。
- C. 事実や意見などについて、多様な観点からの考察や、表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者が主体的・自律的に授業に関与することが可能となるように、活動の展開を構成した。

II. 教科書の構成

※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. PART 1 : Building a Basis for Logical Expression [文法シラバス]

Lesson 6 Volunteer Activities

① The other day Miho let me visit her when she was doing volunteer activities. She was teaching arithmetic to some children. She invited me to join in the activities. Of course, I said I would. It is a great thing for students to be helpful in society.

② Listen and answer *The writer of the passage is a girl.
 (1) She was _____
 (2) She was _____

③ Read aloud
 Work in pairs. Grade each other's reading. (→ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

④ Tips for Expression
 1. 「～するよう求める(依頼、許可)」 → invite [sɪk, tel] + to do (← 3)
 2. 「～させる」 → let [make, have] + to do (← 3)
 「～するのを観る」 → see [hear] + to do (← 3)
 3. 「Aが～すること」 → for A to do (← 3)

⑤ Think and Express! i
 Look at the pictures and complete the sentences.

(1) Could you post this letter?
 Jane: Sure.

(2) Can I use your pen?
 Ken: No, you can't.

(3) I think you should become a teacher.
 Mr. White: Great.

(4) Can we help with picking up the litter?
 That would be great! Ms. Nelson

(1) Jane asked _____
 (2) Ken's mother didn't let _____
 (3) Mr. White wants _____
 (4) Ms. Nelson says it would _____

Can-do! ① 「～するように求める」「～させる」「～が～すること」などを英語で表現できる。
 ② 活動への参加などについて、英語で表現できる。

Think and Express! B

⑥ Listen to the passage and answer the following questions. *The speaker is a girl.
 (1) How often can the speaker join in the volunteer activities?

 (2) What did Miho and the speaker do last Saturday?

 (3) What made Miho and the speaker happy?

⑦ Listen to the passage again and write down the key words.

⑧ Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.
 (You do not have to reproduce the passage exactly.)

⑦ You can refer to the passage written on p. 35 if necessary.

Express Yourself!

⑦ Write a passage of four or more sentences about a volunteer activity you would like to do. environment / welfare / disaster / culture / safety / health

⑧ Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)

① 基本例文 <INPUT>

各課で学ぶべきポイントを含んだ英語の文章（モデル文）。学習者に身近な題材を取り上げています。

② Listen and Answer <INTAKE>

モデル文に関するリスニング問題（文章に関する音声での質問）。筆記あるいは口頭で答える形式です。

③ Read Aloud <INTAKE>

文章の音読練習。書き手の気持ちになって、相手に伝えることを意識させる活動です。

教科書 p.8 に掲載したルーブリックを用いて、学習者間評価を行うことが可能となっています。

④ Tips for Expression <INTAKE> : モデル文中の文法ポイントの解説。

⑤ Think and Express! [A] <INTAKE~OUTPUT>

図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です。

⑥ Think and Express! [B] <OUTPUT>

①モデル文とは異なる文章を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度文章を聞いて、キーワードを書きとる → ③キーワードを用いてイラストをヒントにリテリングを行う、という活動です。ディクトグロス [ペアやグループでの文章復元] にも活用可能です。

⑦ Express Yourself! <OUTPUT>

[1] モデル文などを参考に、自分に関する文章を書く → [2] ペアで音読し、その内容に関して質疑応答を行う。「書く」「話す [発表・やり取り]」を統合的に育成する演習です。

B. PART 2 : Communicative Functions for Logical Expression [機能シラバス]

Lesson 1 What's Your Favorite Dish?

Can-do! 英語で好き嫌い述べることができる。 自分の好きな物について英語で表現できる。

Think and Express! ⑥

① Listen to the dialog between Paul and Karen and answer the following questions.

(1) What is Karen's favorite food?

(2) What does Paul dislike?

② Listen again and fill in the blanks. Then, play the roles of Paul and Karen.

Paul: What's your () food, Karen?
Karen: I love sushi. Especially, I'm a big () of ikura. How about you?
Paul: I like hamburgers. I () I could eat them every day. Are there any foods you ()?
Karen: None that I strongly dislike. But I don't much () for naruto.
Paul: Myself, I like naruto. I () shiitake mushrooms, though.

Retelling Summarize the dialog.
Paul and Karen are talking about _____.
Karen _____, while Paul _____. Karen doesn't much _____. Paul _____ but _____.

Express Yourself! *相手の意見に反対・同意する表現なども、積極的に使ってみよう (→ p.82).

① Work in pairs. Make a dialog about a food you like or dislike.
rich / plain / texture / go well with rice / make me happy/feel refreshed / energetic
◆ As preparation, you can write down some key words in the box below.

② Work in groups. Students A and B will show their dialog to students C and D. C and D will ask questions or make comments about it. (Then switch roles.)

Express Your Opinion
▶ Do you like cooking? Why or why not?

① Model <INPUT>

各課で学習する機能表現を含むモデル文で、dialog・speech・email などさまざまな種類の英文を取り扱っています。また、リスニング問題で内容確認が可能です。

② Expressions <INPUT>

モデル文で扱った機能表現に類する表現を、例文を用いて補足しています。

③ Think and Express! (A) <INTAKE~OUTPUT>

図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です。

④ Think and Express! (B) <OUTPUT>

①モデル文とは異なる対話文等を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度対話文等を聞いて、ディクテーション、対話練習を行う → [Retelling] 対話文等を要約して、自分のことばで第三者に伝えるように文章を作る。

⑤ Express Yourself! <OUTPUT>

[1] モデル文などを参考に、ペアで対話を行う → [2] ペアでの対話を他のペアに発表し、その内容に関してグループで質疑応答を行う。さらに Express Your Opinion で、自分の意見と理由を話す練習を行う。「話す [発表・やり取り]」技能をさらに伸ばさせる活動です。

C. PART 3 : Advanced Communicative Activities [発展的言語活動]

プレゼンテーション [3 課]・ディスカッション [2 課]・ディベート [2 課] に関し、見開き 2 ページごとに「解説～Let's Practice! (実戦練習)」の構成をとっています。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できます。[下記はプレゼンテーションのページ。]

Lesson 2
Making Your Presentation More Effective

このレッスンでは、presentation をより効果的にするための留意点を述べていきます。多くの聞き手に内容を理解してもらえらるよう、以下の点に気をつけて発表しましょう。

Can-do! 発表において、聞き手に理解しやすい表現や、写真・図、統計資料を活用できる。
 ジェスチャーなどを用いて、生き生きと発表することができる。

また、おでんの具材の地域性を詳しく述べるならば、以下のような比較資料を用いるとよいでしょう。

1 発表に役立つ表現をうまく使おう

presentation を行うときは、次のような表現をうまく使うと、話し手は自分の考えをまとめやすくなり、また聞き手も話される内容を予測することができます。理解しやすくなります。

a	導入	<input type="checkbox"/> Do you know/like ~? (～を知っていますか/～は好きですか) <input type="checkbox"/> Today I'd like to talk[tell you] about ~. (今日は～について発表したいと思います)
b	例示	<input type="checkbox"/> For example[instance], ~. (例えば～) <input type="checkbox"/> To illustrate this point, ~. (この点の例として、～)
c	列挙	<input type="checkbox"/> First, ~, Second, ~, Third, ~, Finally[Last], ~. (第一に～、第二に～、第三に～、最後に～) <input type="checkbox"/> First of all, ~, Then, ~, Next, ~, Finally[Last], ~. (まず最初に～、それから～、次に～、最後に～)
d	話題の転換	<input type="checkbox"/> So far I've talked about ~. (ここまでは～について話しました) <input type="checkbox"/> Now we'll move on to ~. (では次に～の話題に移ります)
e	詳述	<input type="checkbox"/> Let's find out why/how ~. (なぜ/どのように～か、みていきましょう) <input type="checkbox"/> Let me go into detail[say a little more] about ~. (～について、詳しく [もう少し] 述べたいと思います)
f	結論	<input type="checkbox"/> In conclusion, ~. (結論として～) <input type="checkbox"/> In summary, ~. (要約すると～)

前ページの原稿でも、上記の表現などを用いて、発表の構成・展開をわかりやすくしています。

2 写真・図や、統計資料を活用しよう

presentation においては、写真や図、あるいは統計資料(グラフ・表など)を適切に用いることで、聞き手の注意を引いて、理解を深めることが可能となります。例えば、おでんの具材の「種り物」を留学生などに紹介する場合は、steamed fish paste という説明に加えて、スライドなどで写真を提示すれば、それが何を指しているのかをより具体的に理解してもらうことができます。



3 生き生きと発表するように心がけよう

効果的な発表をするためには、eye contact や body language (ジェスチャーなど)が重要です。原稿を熟読みするのではなく、聞き手に目を向けて、一人一人に話しかけるように、大きな声で話して発表しましょう。また、適宜ジェスチャーを用いて、presentation をより生き生きとしたものにしましょう。肩筋を伸ばし、リラックスした姿勢・にこやかな表情で話すことも大切です。

Presentation のポイント(まとめ)

<input type="checkbox"/> ① 伝えたい情報は明確か。	<input type="checkbox"/> ⑤ 理解を深める資料はあるか。
<input type="checkbox"/> ② 導入・本論・まとめの展開は適切か。	<input type="checkbox"/> ⑥ 発声(音量・速さなど)は適切か。
<input type="checkbox"/> ③ 発表の表現はうまく用いられているか。	<input type="checkbox"/> ⑦ eye contact, body language は適宜用いられているか。
<input type="checkbox"/> ④ 文法・語法・単語は正しいか。	

Let's Practice!

Collect materials such as pictures or charts for the manuscript you made in [Let's Practice!] on p. 107. Make a presentation in class.

108

Part 3 109

D. Express It Logically : PART 1,2 の3~4 課ごとに、以下の内容を設けています。

1. パラグラフ・ライティング [PART 1]

パラグラフの構造や展開など、論理的な文章の構築を習得するレッスンです。

※図絵を描写する問題 [下記] など、学習内容を活用する activity を充実させています。

2 Describe the situation shown in the pictures. (Speak impromptu.)



2. インタビュー, サマリー・ライティング, 図表の内容の伝達活動 [PART 2]

さまざまな形式の「書く」「話す [発表・やり取り]」の活動を扱います。実践的な内容で、資格・検定試験の練習としても活用できます。[下記は「プログラムに関するやり取り」の演習.]

- ▶ Work in pairs. (1) Ask your partner the three questions about Program A in ③-A on p.104. Your partner will answer them. (2) Then switch roles. Your partner asks you the three questions about Program B in ③-B on p.104 and you answer them.

Program A

Study-Abroad Seminar

Date: September 15 (Sun.) / Location: MLK Hall

PROGRAM

9:30	Registration
10:00	Welcome address
10:10	Basic information about studying abroad
11:10	Scholarship available for studying abroad
12:00	<Lunch>
13:00	Studying in Canada
14:00	Studying in Australia and New Zealand
15:30	Individual consultation (with students who have studied abroad)

*We are also planning to hold similar seminars in October and November.

3. Tips for Express Your Opinion / Writing [PART 2]

Tips for Express Your Opinion では「自分の意見とその理由」を述べる方法を習得します。Writing (下例) では email や手紙などを題材に、まとまった分量の文章を書かせる練習を行います。

- ▶ Write an email request to a college student in Britain who writes a wonderful blog about a topic you are interested in. (興味のある話題についてすばらしいブログを書いているイギリスの大学生に、依頼のEメールを書いてみよう.)

To: Mr. Ray Williams

Subject: I wonder if you could exchange emails with me. (Aiba Sho)

Dear Mr. Williams,

I am a (male) student who is interested in British rock music and enjoys your blog very much. I wonder if we could exchange emails. I would like to tell you about Japanese bands that have been influenced by the Beatles or other British bands. I would appreciate your reply. Thank you.

Aiba Sho

◆その他：学習者間での活動の評価のため、ルーブリックの例を p.8 に掲載しました [下記 (一部)].

課 題	A (3点)	B (2点)	C (1点)
Organization (構成)	文章が理解しやすいまとまった構成で述べられている。	文章がおおむねまとまった構成で述べられている。	文章がまとまった構成で述べられていない。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
見返し How to Write a Letter / Punctuation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II 後見返し IV・V	—

はじめに 英語表現力を効果的に身につけるには	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	5～7ページ	1
PART 1 Building a Basis for Logical Expression	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に扱うものとする。	内容 (1) Tips for Expression (10 ページほか) Column (18～19 ページ) Express It Logically (20～22 ページほか) (2) Listen and Answer, Read Aloud, Think and Express! [A] (10 ページほか) Think and Express! [B] (11 ページほか) Express Yourself! (11 ページほか) Express It Logically (20～22 ページほか) (3) ① 同上 ② モデル文, Think and Express! [A] (10 ページほか) Think and Express! [B] (11 ページほか) 内容の取扱い 上記(2)に同じ	27
PART 2 Communicative Functions for Logical Expression	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に扱うものとする。	内容 (1) Expressions (62 ページほか) Tips for Express Your Opinion (68 ページほか) Column (82～83 ページ) (2) Listening Quiz, Think and Express! (A) (62 ページほか) Think and Express! (B) (63 ページほか) Express Yourself! (63 ページほか) Writing (69 ページほか) Express It Logically (70～71 ページほか) (3) ① 同上 ② Model, Think and Express! (A) (62 ページほか) Think and Express! [B] (63 ページほか) Writing (69 ページほか) Express It Logically (70～71 ページほか) 内容の取扱い 上記(2)に同じ	26
PART 3 Advanced Communicative Activities	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に扱うものとする。	内容 (1) Lesson 1～7 (106～119 ページ) (2) 同上 (3) 同上 内容の取扱い 同上	14
後付 Useful Expressions	内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に扱うものとする。	120～125 ページ	2

※配当時間は、正課・副課など各1～2時間として計算（考査・発表等含む）。

合計 70 時間